

「親の学習」プログラム

1 — ⑤

乳幼児とふれあう

— 保育体験をしてみましょう —

あなたは、幼い子どもと一緒に遊んだことがありますか？

ここでは、乳幼児と直接ふれあう体験をしてみましょう。

手作りのおもちゃで一緒に遊んだり、食事や身の回りの世話をしたりする中で、きっとたくさんの発見があるはずです。幼い子どもたちは、どんなことができ、どんなことに興味をもっているのでしょうか。

ワーク
1

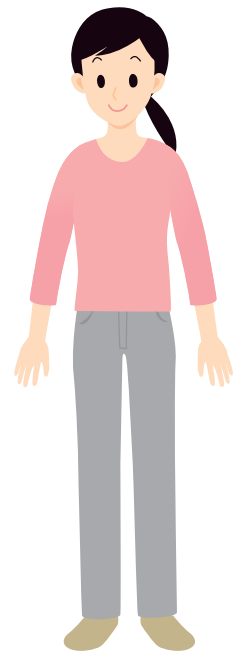
保育体験をする前に、気をつけることをまとめてみましょう。

あなた自身の身だしなみ

あいさつ

乳幼児への接し方

その他



ワーク
2

保育体験をしてみましょう。



一緒に遊んだ子どもの
名前・年齢・性別は？

遊んだ場所やその環境は？

どんな遊び・どんなこと
をしていたかな？

保育者の様子は？

ふりかえり

保育体験をしてどんな感想を持ちましたか。

資料

手作りおもちゃでふれあいましょう！

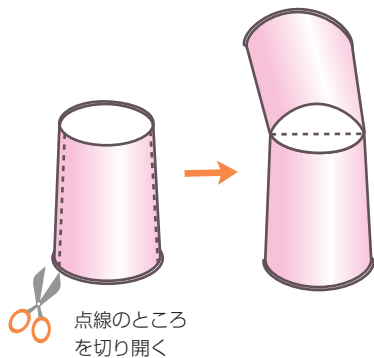
紙コップを利用して、簡単にできるおもちゃをつくってみましょう。
おみやげにしたり、子どもたちと一緒につくっても楽しいですね。

「ぱくぱく人形」をつくりましょう

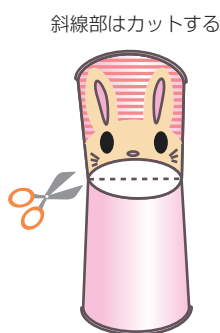
【必要な材料】紙コップ・色画用紙・のり・はさみ・セロテープ・マジック 他

【つくりかた】

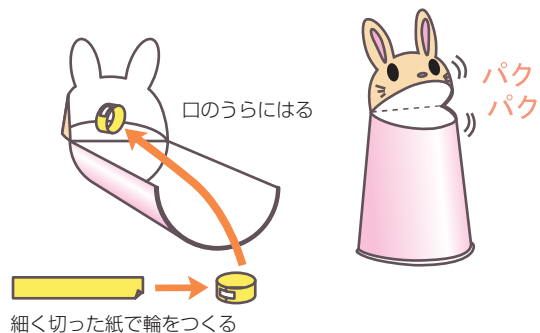
①紙コップをたてに切って開き、下の図のようになる。



②底の部分を口にして、動物の顔をつくる。



③別の紙で、指を入れる輪をつくり、口の裏にはる。



「ぱくぱく人形」をつかった遊び方の工夫

☆グループごとに登場する動物を決め、ミニ人形劇に挑戦してみよう。

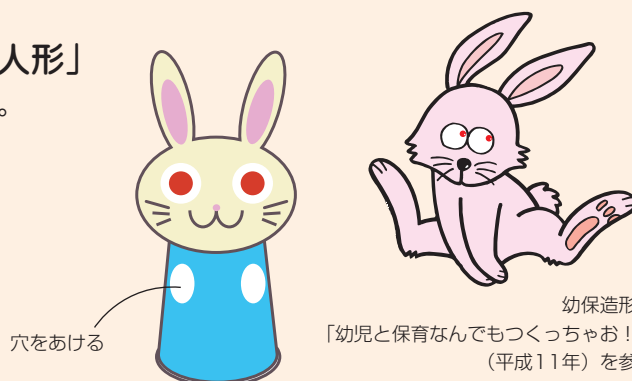
舞台や簡単な小道具をつくると、一層盛り上がります。保育体験で演じる前に、発表し合い、お互いに評価してみよう。

☆ぱくぱく人形をつかって、一緒にうたを歌ってみよう。

動物が登場するうたを歌うと、一層盛り上がります。
ペープサートと組み合わせても、楽しいよ。

紙コップを使った「かんたん指人形」

同じ材料で、簡単に指人形ができます。
紙コップに指の穴を2つあけ、動物の顔をつけるとできあがり。
紙コップの柄を上手に利用すると、かわいい洋服になります。



幼保造形研究会編
「幼児と保育なんでもつくっちゃお！」小学館
(平成11年)を参考に作成

資料 こんな工夫で充実した保育体験をしています

うらは安全ピン



☆手作りの名札をつけて



子どもたちに早く名前を覚えてもらいたいので、手作りの名札をつけています。

安全性を考え、材料はフェルトで、キャラクターは各自が工夫しています。幼稚園の先生にも好評です。名札がきっかけで、すぐに子どもたちとも仲良くなれるのでよかったです。

☆保育実習を終えた後も交流を

私たちは、年に2回の保育体験を実施しています。保育体験の後、お礼の気持ちを込めて、園児に「立体お手紙」を贈りました。

(色画用紙や折り紙などで壁面構成し、簡単なお礼の言葉も添えました。)

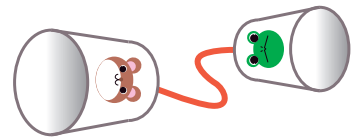
その後、園児一人一人から、かわいのお手紙をもらい、とても感動しています。習いたての文字で、一生懸命に書いたお手紙や、一緒に遊んだ絵が描いてあるお手紙などに、胸が熱くなりました。たった2回の保育体験でも、このように交流が深まるといいと思います。

☆保育体験の経験を生かして
夏休みにボランティアを

授業での保育体験は、いろいろな準備や気をつけなければならないことが多く、少し面倒くさいなと思っていました。

でも、実際に保育体験をしてみたら、とても楽しくまたやってみたくと考え、夏休みに保育所でボランティアをすることにしました。長い時間、園児と接することで、いろいろなことが学べます。

☆手作りおもちゃで



遊べるおもちゃを一緒に作ります。材料はすぐに用意できるもので、ペットボトルや紙コップ、ビニール袋などを利用します。

できるだけ、子どもたちと一緒に考えて、自分たちだけのおもちゃを作ります。作った後は、それを利用して一緒に遊べるので、とても仲良くなることができます。工作をとおして、子どもたちの発達の様子もよくわかります。作ったおもちゃを使って、グループごとに競争をしても、盛り上がって楽しいです。

☆手作り絵本



授業で、毎年、手作りの絵本を作っています。保育体験では、その絵本の読み聞かせを行います。絵本をつくるのは大変ですが、一生懸命に聞いてくれる園児をみると作ってよかったと思います。